

広島大学大学院(博士課程前期)
法学・政治学プログラム入学試験(令和8年8月実施)

問題 専門科目 [社会学]

下記の問いに全て答えなさい。問1と問2は別々の解答用紙に記入すること。

問1 R.K. マーソンの議論をふまえ下記の内容について、具体的な社会事象の例をあげて説明しなさい。

(1) 逆機能

(2) 準拠集団行動

問2 量的調査と質的調査はそれぞれどのような調査であるか、具体的方法、分析の方向性、長所・限界に触れながら説明しなさい。

広島大学大学院(博士課程前期)
法学・政治学プログラム入学試験(令和8年8月実施)

出題の意図

専門科目 [社会学]

各設問は受験者の下記能力をみるために作成した。

問 1

(1)

- ・ 代表的な社会学概念である機能について理解しているか
- ・ 機能には順機能・逆機能の分類があることを理解しているか
- ・ 社会学概念を用いて実際の社会事象を説明・分析する能力があるか

(2)

- ・ 代表的な社会学概念である準拠集団について理解しているか
- ・ 準拠集団と所属集団は必ずしも一致しないことや準拠集団が複数採用される場合があることを理解しているか
- ・ 社会学概念を用いて実際の社会事象を説明・分析する能力があるか

問 2

- ・ 量的調査と質的調査の区別ができているか
- ・ 各調査によって収集されるデータと分析の方向性を関連づけて理解しているか
- ・ 調査方法を選択する際に考慮が必要な各方法の長所・限界を把握しているか